

生理研研究会 「多様なアプローチから神経回路の動作原理を考える」

開催日：2025年12月23日（火）～24日（水）

開催場所：生理学研究所 1階 大会議室

研究会代表者：坂場 武史（同志社大学・大学院脳科学研究科）

所内対応者：吉村 由美子（生理学研究所）

12月23日（火） 12:30～ 受付

セッションI 座長：岡本 悠志（秋田大）

13:00～13:35

坂場 武史（同志社大・脳研）

シナプス前性可塑性メカニズムの解析

13:35～14:10

坂本 寛和（東京大・医）

神経回路の入出力特性を実装するシナプス超分子ナノ構造：細胞種特異性と慢性ストレスによる再設計

14:10～14:45

川口 真也（京都大・理）

樹状突起のかたちが規定する情報統合

休憩

セッションII 座長：大西泰地（同志社大・脳研）

15:05～15:40

三木 崇史（秋田大・医）

神経伝達ナノスケール制御機構解明を目指した内在性シナプス前部分子の高時空間解像ライブイメージング法開発

15:40～16:15

合田 裕紀子（OIST）

Dissecting squid optic lobe microarchitecture through multimodal profiling

16:15～16:50

谷本 拓（東北大・生命）

Differential regulation of synaptic vesicles underlies labile and consolidated memories of *Drosophila*

休憩

セッションIII 座長：井下拓真（京都大・理）

17:10～17:45

安部 健太郎（東北大・生命）

鳴禽類の解析を通じてコミュニケーションの脳内機構を探る

17:45～18:20

松崎 政紀（東京大・医）

靈長類で進化した大脳皮質回路の動作原理の解明に向けて

18:20～懇親会（生理学研究所1F セミナー室）

12月24日（水）

セッションIV 座長：大原慎也（東北大・生命）

9:00～9:35

尾崎 弘展（同志社大・脳研）

マウス運動皮質梗塞からの回復過程における適応的・不適応的代償の可視化

9:35～10:10

小澤 貴明（大阪大・蛋白研）

嫌惡的な予測学習中に観察される多様な脳内ドバミン放出動態と協調性

10:10～10:45

坂本 雅行（京都大・生命）

生体における神経活動および生化学シグナル計測のための蛍光バイオセンサー

休憩

セッションV 座長：田淵詠梨（同志社大・脳研）

11:00～11:35

大原慎也（東北大・生命）

嗅内皮質の配線から探る記憶の情報処理機構

11:35～12:10

吉村由美子（生理研）

大脳皮質視覚野可塑性は一酸化窒素合成酵素陽性の介在細胞により調節される

12:10 終わり